

ちょうかい  
聴解スクリプト

(M：男性 F：女性)

## 問題 1

### 例

授業で先生が話しています。学生は授業を休んだとき、どのように宿題を確認しますか。

M：ええと、この授業を休むときは、必ず前の日までに連絡してください。

F：メールでもいいですか。

M：はい、いいですよ。あ、それから、休んだときは、私の研究室の前の掲示を見て、宿題を確認してください。友達に聞いたりしないで、自分で確かめてちゃんとやってきてくださいね。

F：はい。

M：それから、今日休んだ人、リンさんですね、リンさんは、このこと知りませんから、だれか伝えておいてくれますか。

F：あ、私、リンさんに伝えておきます。同じ寮ですから。

M：じゃ、お願いします。

学生は授業を休んだとき、どのように宿題を確認しますか。

### 1 番

会社で課長と男の人が話しています。男の人はこのあと何をしますか。

F：ちょっといい？

M：はい、課長。

F：今、林さんから電話があって、お子さんが熱を出して今日は会社を休むそうなの。それで、悪いんだけど、先週の会議の内容を代わりにまとめてもらえない？ 明日の会議で使うから、今日の昼までお願いしたいんだけど。前もやったことあるよね。

M：あ、はい。ただ、午前中にその作業が入ると、今やってる調査結果の入力が、今日中には終わらなくなってしまいますが。

F：ああ、じゃ、今してもらってるほうは、ほかの人にお願ひしましょう。

M：分かりました。作業の詳細は、林さんに電話で確認したほうがいいですか。

F：あ、パソコンにある共有フォルダーに途中まで作業したのが入っていて、見れば分かるそ

うだから。

M：はい、分かりました。

F：この前も、ほかの人が休んだときに、プレゼンの資料を作ってもらったよね。申し訳ないけど、よろしくね。

M：はい。

男の人はこのあと何をしますか。

## 2番

駅の改札口で女の人と駅員が話しています。女の人は、今ここでいくら払いますか。

F：すみません。切符をなくしてしまって。山川駅から乗ったんですが、よく探したんですけど、見つからなくて。

M：もう一度、乗車券を購入していただくことになります。

F：あのう、全額払わなければなりませんか。

M：はい。山川駅からですと、1,000円ですね。

F：でも、確かに切符を買ったんですが、2,000円も払うことになっちゃうんですけど。

M：同じ切符を2回買っていただくことになってしまいますが、そういう規則です。申し訳ありません。

F：そうですか。

M：今から、切符を再発行したという証明書をお出しますので、なくされた乗車券が出てきましたら、どちらの駅でもけっこうですので、証明書とその乗車券をご提示ください。もしましたら、乗車料金から払い戻しの手数料分100円を差し引いた900円をご返金しますので。

F：分かりました。

女の人は、今ここでいくら払いますか。

## 3番

大学で男の学生と女の学生が話しています。男の学生はこのあとまず何をしますか。

M：あ、中野さん、中野さんって大学の最寄駅の駐輪場借りて、大学まで自転車で来てるよね。僕も駅前の駐輪場を借りたいんだけど、どうやって申請するか教えてくれない？

F：うん。でも申請の締め切りって毎月二十日だから、今日締め切りだよ。

M: え、ほんと?

F: うん。駐輪場に張り紙がしてあったの見たよ。

M: そうなんだ。今日4時半まで授業あるのにどうしよう。申し込みは駐輪場の受け付けでするの?

F: ううん、市役所。窓口は5時までだから、申請書を用意して予め記入しておけば、ギリギリ間に合うんじゃない?

M: でも、申請書は、市役所に取りに行かないとだめなんだよね?

F: 市役所のホームページからもダウンロードできるよ。午後の授業が始まるまでまだ時間あるから、印刷して、すぐ提出できる状態にしておいたら?

M: うん、そうする。申請書のほかに必要な書類ってある?

F: 学生証のコピーがいるんだけど、それは、市役所でコピーすればいいよ。

M: 分かった。

男の学生はこのあとまず何をしますか。

#### 4番

女の人と男の人が話しています。女の人はこのあとまず何をしますか。

F: 木村さん、夏休みに家族でキャンプに行きたいんですが、初めてなんで、道具とかどうしたらいいかわからなくて。木村さんはよく行かれるんですよね。何かアドバイスいただけませんか。

M: うーん、最近インターネットにいろんな情報が載ってるから、まずはネットで調べてみたら?

F: そう思って調べてみたんですけど、情報が多すぎてよくわからなかったんです。

M: そっか。僕のを貸してあげてもいいんだけど一人用のだからな。

F: そうですか。

M: あ、アウトドア用品の専門店が企画してるキャンプの講座があるんだけど、お店、紹介しようか。初めての人対象で、キャンプのベテランがいろいろ教えてくれるよ。

F: へえ。でも、それに出たら、その店でキャンプの道具を買わされたりしないですか。

M: まあ、宣伝も兼ねてるんだらうけど、無理やりなんてことはないよ。

F: それならいいですね。じゃ、そうします。

女の人はこのあとまず何をしますか。

5 番

会社かいしゃで男おとこの人ひとと女おんなの人ひとが話はなしています。女おんなの人ひとはこれなにから何なにをしなければなりませんか。

M：うちのお茶ちやの葉はの品質ひんしつ管理かんりのことで、調しらべてほしいことがあつて。実じつは、市し場じやうに出でる前まえでよかつたんだけど、一いち部ぶの製せい品ひんの質しつが通つう常じやうより悪わるいことが分わかつてね。

F：えっ、そうなんですか。

M：いつもと香かおりが違ちがっていて。それで、うちぶの部ちゆうが中しん心しんとなつて、可か能のう性せいのあるところを調しらべて原因げんいんを特とく定ていすることになつたんだ。

F：そうですか。どこをあたりましょうか。工こう場じやうからでしょうか。

M：工こう場じやうのほうは、気き温おんや湿しつ度どなどの管かん理りの状じやう況きやうを調しらべてもらったところ、特とくに問もん題だいはなかつたんだよ。

F：では、生せい産さん者しや側がわへの確かく認にんですか。うちが契けい約やくしている農のう家かに問とい合あわせましょうか。

M：うん、それは生せい産さん地ちに近ちかい支し社しゃの担たん当とう者しやが対たい応おうすることになつているんだ。それより、農のう家かから工こう場じやうまでの輸ゆ送そうは外がい部ぶに頼たのんでるだろう。どのようはこに運こんでいたか、向むこうの会かい社しゃの担たん当とう者しやに確かく認にんしてもらいたいんだよ。暑あつい時じ期きだしね。

F：分かりました。あ、うちわの倉そう庫こで製せい品ひんを保ほ存ぞんしているうちかんがにかんも考かんがえられますか。そちらの状じやう況きやうも調しらべたほうがいいでしょうか。

M：ありがとう。そこは私わたしがやるから。

F：はい。では、すぐ取とりかかります。

女おんなの人ひとはこれなにから何なにをしなければなりませんか。

## 問題 2

### 例

母親と高校生の女の子が話しています。女の子はどうして学校へ行きたくないのですか。

F 1: どうしたの? 朝からためいきばかり。だれかとけんかでもしたの?

F 2: それはもういいの、仲直りしたから。それより、見てよ、この前髪。

F 1: まあ、また、思い切って短くしたわね。

F 2: こんなんじゃ、みんなに笑われちゃうよ。ねえ、今日学校休んじゃだめ?

F 1: だめに決まってるでしょ。そんなこと言って、本当は今日の試験、受けたくないんですよ。

F 2: 違うよ、ちゃんと勉強したんだから。そんなことより、ああ、鏡見るだけで頭痛くなりそう。

女の子はどうして学校へ行きたくないのですか。

### 1 番

男の学生と女の学生が話しています。男の学生のうちに警察官が来た目的は何ですか。

M: この前、突然うちに警察官が訪ねてきたんだよ。

F: えっ、近くで何か事件でもあったの?

M: うん、僕もそう思ったんだ。一人暮らしですか、一緒に住んでる家族はいますかって聞かれて。何か疑われてるのかなって。

F: うんうん。

M: そしたらね、火事とか、何か災害があったときに住民の無事を確認する必要があるから、定期的にそういうのを聞いて回ってるんだって。

F: ああ、そういうとき、どこに、だれが住んでるか分かってないよね。

M: うん、警察の人が来るなんてびっくりしたって正直に伝えたら、ほかにも、地域の担当警官が替わったときに、あいさつに回ったりすることもあるって。

F: え、警察官があいさつに来るの? 知らなかった。

男の学生のうちに警察官が来た目的は何ですか。

2 番

研究会で学生と先生が話しています。先生はこの学生の研究発表について何が問題だったと言っていますか。

F：先生、先ほどの私の発表、何か問題があったでしょうか。先生渋い顔をされていたので。

M：私の表情まで見えてましたか。初めてにしては、大したもんだ。落ち着いてた証拠だね。

F：いえ、そんなことは。すごく緊張しました。

M：まあ、全体的には合格点と言えるんだけどね、話の運び方が。まずは全体像、そのあとで調査の方法とか結果とか、詳細へと進めるといいよ。聞いている人にとっては初めて聞く話なんだから、ああやって細かいところから伝えられるとね。

F：はい。

M：でもまあ、発表のときの声の大きさも適当だったし、受けた質問への対応も好感が持てたし、なかなかのものだったよ。

F：あ、はい。次からはご指摘いただいた点、気をつけます。

先生はこの学生の研究発表について何が問題だったと言っていますか。

3 番

男の人と女の人が話しています。女の人はどうしてカフェの開店を延期することにしましたか。

M：前田さん、来週、カフェをオープンするんだよね。どう？ 順調？

F：んー、従業員募集してるんだけど、必要人数に達してなくて。夕方から夜にかけて勤務できる人が必要なんだけどね。先月までは店の工事が随分遅れてて心配したんだけど、そっちは何とか間に合ったのに。そういうわけで、結局、オープン、1か月先になったんだ。

M：え、ほんと？ でもまあ、焦って開店してサービスの評判落とすより、延期してでもちゃんと準備したほうがいいよ。あ、メニューは決まった？ 前に、どんなメニュー出すか悩んだら？

F：うん。完成した。食事のメニューも充実してるから、オープンしたら、食べに来て。あ、食器も凝ってるんだよ。飲むカップによって、おいしさが変わってくるなんてことも言われるでしょ。ほとんどの食器、海外から取り寄せたんだ。

M：海外から食器を？ すごいな。オープン、楽しみにしてるよ。

女の人はどうしてカフェの開店を延期することにしましたか。

#### 4 番

大学で休み時間に男の学生と女の学生が話しています。女の学生はどうしてぼんやりしてましたか。

M: 森さん、さっきからずっとぼんやりして、何か考え事?

F: あ、うん。あのね、昨日テレビで、ぼんやりすることにはすごい効果があるって紹介してたんだ。5分くらい目を閉じて何も考えないでぼんやりすると、頭の中の情報が整理されて記憶が定着しやすくなるっていう実験結果があつてね。

M: へえ、ぼんやりしてるときは脳が休んでるんじゃないの?

F: そう思うでしょ? ところが脳は活発に働いてるんだって。私、さっきの授業で山ほど知識詰め込んで、ごちゃごちゃになってるから、早速ぼんやりを実践しようとしてたんだ。

M: あ、じゃ、邪魔しちゃったね。

F: ううん。あ、そういえば、疲れてるときなんかこれやると、すっきりして体がリラックスするとも言ってたな。

M: へえ。僕も今度やってみるよ。

女の学生はどうしてぼんやりしていましたか。

#### 5 番

テレビでアナウンサーと大学の教授が話しています。教授が大学の研究で心配しているのは、どんなことですか。

F: 今日は物理学の青木教授に大学での研究が抱える問題についてお話を伺います。

M: 私は、大学で40年研究・教育に取り組んでいます。かねてから、大学の研究はすぐに社会に役立つものが少ないと批判を受けることがあります。

F: ええ。

M: もちろん科学は最終的に人の役に立つものであるべきです。昨今では、産業界の協力を得て、応用技術の開発や実用化が比較的短い期間で可能になりました。が、本来、大学の使命というのは基礎研究にあります。

F: 基礎研究というのは木の根っこのようなものですね。

M: ええ。そこをしっかりとってこそ、さまざまな応用、科学の発展へと繋がっていくんです。根っこが枯れてしまつては、取り返しがつきません。社会や産業界からすぐに役立つ研究、より早い実用化が求められるのもわかりますが、大学の本来の使命が見失われてしまうことに、私は大変危機感をもっています。

きょうじゅ だいがく けんきゅう しんばい  
教授が大学の研究で心配しているのは、どんなことですか。

## 6 番

しょうめいきぐ みせ てんいん あたら しょうひん はな  
照明器具の店で店員が新しい商品について話しています。この商品にはどんな機能がありますか。

M：こちらの照明は防犯を意識したものです。タイマーをセットすれば、室内の電気のオンオフが普段と同じ時間にできるので、旅行などで家を空けても、外から留守だと分かりません。防犯用照明というと、これまでは、例えば人の動きに反応してつくものなど、屋外の照明に限られ、こういった室内用のものはありませんでした。最近の室内照明は、明るさを細かく調節できたり、外の明るさに応じて自動的に電気の明るさを変える機能があったりと、省エネをアピールしたものが主流ですが、こちらの商品は特定のニーズにこたえたものと言えますね。

しょうひん きのう  
この商品にはどんな機能がありますか。

## 問題 3

### 例

テレビでアナウンサーが通信販売に関する調査の結果を話しています。

F：皆さん、通信販売を利用されたことがありますか。買い物をするときは店に行って、自分の目で確かめてからしか買わないと言っていた人も、最近この方法を利用するようになってきたそうです。10代から80代までの人に調査をしたところ、「忙しくて買いに行く時間がない」「お茶を飲みながらゆっくりと買い物ができる」「子供を育てながら、働いているので、毎日の生活になくてはならない」など多くの意見が出されました。

しょうひんばい なに  
通信販売の何についての調査ですか。

1. 利用者数
2. 買える品物の種類
3. 利用方法
4. 利用する理由

## 1 番

ラジオで男の人が話しています。

M：えー、和紙、伝統的な日本の紙ですね、その和紙の専門店で最近、行ったんですけど、そこにきれいな折り紙の作品が飾ってあったんですよ。折り紙は、千年ほど前、和紙を使って、贈り物を美しく包装するために、折り方を工夫することから始まったそうです。そして、和紙が安く生産されるようになると、一枚の和紙からさまざまな形を生み出す遊びとして子供たちの間でも人気が出て、折り方の本も出版されるようになりました。近代になると、幼稚園などの教育現場にも取り入れられ、今も広く親しまれています。

男の人は何について話していますか。

1. 和紙で物を美しく包む方法
2. 折り紙の始まりと歴史
3. 教育現場に折り紙が取り入れられた理由
4. 和紙ができるまでの流れ

## 2 番

会社の企画部の会議で女の人が話しています。

F：先月、20歳代から50歳代の働く女性を対象に「ストレスと香り」に関するアンケート調査を行ったのですが、「何らかのストレスを感じる」と答えた人のほうが、「香り」を重視してシャンプーを購入していました。えー、それから以前よりも、仕事を持つ女性のストレスが増えているということも分かりました。そこで、新しい商品作りにはこの結果を取り入れ、リラックス効果の高い香りがするシャンプーという方向で進めていくのがいいと思います。ストレス解消を求める働く女性にアピールしていけば、販売数の上昇に繋がるのではないのでしょうか。

女の人は何について話していますか。

1. 調査結果に基づく商品開発の方向性
2. 働く女性に対する調査の方法
3. シャンプーの販売実績
4. 新商品のストレス解消への効果

### 3 番

子育て教室で男の人が話しています。

M：この中には初めてお子さんを育てるとい方方もいらっしゃるでしょう。子供が成長する過程で、絵本は欠かせないものです。赤ちゃんがまだ言葉が分からないうちは、ストーリーを理解できないから絵本は無理だと思方方も多いかもしれませんが、初めは色や形や音のリズムが面白いものなら、興味を持つはずです。赤ちゃんが成長するにつれて、あいさつや生活のマナーなどが学べるものを取り入れていくといいですね。さらに理解力が高くなってきたら、わくわく、どきどきするようなストーリーのあるものを親子で一緒に楽しんでみたらいいかがでしょうか。

男の人は何について話していますか。

1. 子育てにおける絵本の役割
2. 子供が絵本を好きな理由
3. 成長に応じた絵本の選び方
4. 絵本におけるストーリーの重要性

### 4 番

ラジオで女の人が話しています。

F：健康のためには、毎日の運動が必要だと分かっているても、なかなか続けられない方も多お思います。でも、毎日の過ごし方を少し変えるだけで、軽いスポーツをするのと同等の効果が得られるそうなんです。じっとしている時間を30分減らす。その程度で十分です。これなら、ちょっと気分を変えて、テレビを見る代わりに近所を散歩する、友人と喫茶店で話す代わりにウインドショッピングを楽しむなど、日ごろしていることを少し見直すだけでできそうですよね。

女の人は何について紹介していますか。

1. 日常生活に運動を取り入れる工夫
2. スポーツの楽しみ方
3. 無駄な時間をなくす工夫
4. 気分転換のしかた

## 5 番

小<sup>しょうがっこう</sup>学校で先生<sup>せんせい</sup>が児童<sup>じどう</sup>の親<sup>おや</sup>たち<sup>はな</sup>に話<sup>はな</sup>しています。

M: もうすぐ夏<sup>なつやす</sup>休み<sup>やす</sup>です。海<sup>かい</sup>水<sup>すい</sup>浴<sup>よく</sup>や山<sup>やま</sup>登<sup>のぼ</sup>りなど、いろい<sup>い</sup>ろな計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>を立<sup>た</sup>てていら<sup>い</sup>っしや<sup>し</sup>ゃ<sup>し</sup>ゃと思<sup>おも</sup>います。  
た<sup>た</sup>だ、毎<sup>まい</sup>年<sup>ねん</sup>休<sup>やす</sup>みの間<sup>あいだ</sup>に、海<sup>うみ</sup>や山<sup>やま</sup>など出<sup>で</sup>掛<sup>か</sup>けた先<sup>さき</sup>で怪<sup>け</sup>我<sup>が</sup>をする子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>がいます。楽<sup>たの</sup>しい夏<sup>なつ</sup>休<sup>やす</sup>みが  
台<sup>だい</sup>無<sup>な</sup>しになら<sup>な</sup>ないよう、遊<sup>あそ</sup>ぶとき<sup>とき</sup>のル<sup>こ</sup>ール<sup>ども</sup>を子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>と一<sup>いっ</sup>緒<sup>しょ</sup>に決<sup>き</sup>めるよう<sup>き</sup>にして<sup>し</sup>て<sup>て</sup>く<sup>だ</sup>さい。例<sup>た</sup>えば、  
海<sup>うみ</sup>であ<sup>あ</sup>れば、泳<sup>およ</sup>ぐ前<sup>まえ</sup>に体<sup>たい</sup>操<sup>そう</sup>するこ<sup>こ</sup>と、沖<sup>おき</sup>に流<sup>なが</sup>され<sup>ら</sup>ないよう、砂<sup>すな</sup>浜<sup>はま</sup>に近<sup>ちか</sup>いところ<sup>ところ</sup>で遊<sup>あそ</sup>ぶこと<sup>こと</sup>な  
どを約<sup>やく</sup>束<sup>そく</sup>するとい<sup>い</sup>い<sup>い</sup>で<sup>い</sup>しょう。い<sup>い</sup>ず<sup>い</sup>れ<sup>い</sup>に<sup>い</sup>して<sup>い</sup>も大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>なこ<sup>こ</sup>と<sup>ども</sup>は、ご<sup>ご</sup>両<sup>りょう</sup>親<sup>しん</sup>が子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>の行<sup>こう</sup>動<sup>どう</sup>を見<sup>み</sup>守<sup>まも</sup>る  
こ<sup>こ</sup>と<sup>ども</sup>です。ど<sup>ど</sup>う<sup>ど</sup>ぞ<sup>ど</sup>よろ<sup>よ</sup>ろ<sup>ろ</sup>しくお願<sup>ねが</sup>い<sup>い</sup>し<sup>ま</sup>す。

先生<sup>せんせい</sup>は何<sup>なに</sup>について話<sup>はな</sup>して<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>すか。

1. 夏<sup>なつ</sup>休<sup>やす</sup>み中<sup>ちゆう</sup>の学<sup>がく</sup>校<sup>こう</sup>行<sup>ぎょう</sup>事<sup>じ</sup>の予<sup>よ</sup>定<sup>てい</sup>
2. 夏<sup>なつ</sup>休<sup>やす</sup>みを安<sup>あん</sup>全<sup>ぜん</sup>に過<sup>す</sup>ごすた<sup>た</sup>め<sup>め</sup>の注<sup>ちゆう</sup>意<sup>い</sup>点<sup>てん</sup>
3. 怪<sup>け</sup>我<sup>が</sup>をし<sup>し</sup>たとき<sup>とき</sup>の対<sup>たい</sup>処<sup>しよ</sup>法<sup>ほう</sup>
4. 海<sup>うみ</sup>や山<sup>やま</sup>で守<sup>まも</sup>るべきマ<sup>ま</sup>ナー

## 問題 4

例

F: 今日<sup>きょう</sup>ち<sup>ち</sup>よ<sup>よ</sup>つと、残<sup>のこ</sup>って仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>して<sup>て</sup>も<sup>も</sup>ら<sup>ら</sup>え<sup>え</sup>ない?

M: 1. 今日<sup>きょう</sup>ですか。はい、分<sup>わ</sup>かり<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>した。  
2. すみ<sup>す</sup>ませ<sup>せ</sup>ん、今日<sup>きょう</sup>遅<sup>おそ</sup>くな<sup>な</sup>った<sup>た</sup>ん<sup>ん</sup>です。  
3. 残<sup>のこ</sup>りは、あ<sup>あ</sup>とこ<sup>こ</sup>れ<sup>れ</sup>だ<sup>だ</sup>け<sup>け</sup>です。

1 番

F: トム<sup>とむ</sup>さん、よ<sup>よ</sup>か<sup>か</sup>つ<sup>つ</sup>たら、今日<sup>きょう</sup>の夕<sup>ゆう</sup>食<sup>しょく</sup>う<sup>う</sup>ち<sup>ち</sup>にお<sup>お</sup>い<sup>い</sup>で<sup>で</sup>にな<sup>な</sup>り<sup>り</sup>ませ<sup>せ</sup>んか。

M: 1. え<sup>え</sup>と、何<sup>なん</sup>時<sup>じ</sup>に<sup>こ</sup>来<sup>こ</sup>れ<sup>れ</sup>ま<sup>ま</sup>すか。  
2. え、伺<sup>うかが</sup>つ<sup>つ</sup>ても<sup>も</sup>よ<sup>よ</sup>ろ<sup>ろ</sup>しい<sup>い</sup>ん<sup>ん</sup>です<sup>す</sup>か。  
3. 今日<sup>きょう</sup>は<sup>は</sup>う<sup>う</sup>ち<sup>ち</sup>には<sup>は</sup>お<sup>お</sup>り<sup>り</sup>ませ<sup>せ</sup>ん<sup>ん</sup>が。

2 番

M：駅前<sup>えきまえ</sup>の、あの人気<sup>にんき</sup>のレストラン、昨日<sup>きのう</sup>行ってみただけど、味<sup>あじ</sup>は期待<sup>きたい</sup>したほどじゃなかったよ。

- F：1. えー、期待<sup>きたい</sup>してなかったのに？  
 2. ああ、だから込<sup>こ</sup>んでるんだね。  
 3. へえ、なんで人気<sup>にんき</sup>があるんだろう。

3 番

F：部長<sup>ぶちやう</sup>、社内<sup>しゃない</sup>アンケート、山田<sup>やまだ</sup>さんを除<sup>のぞ</sup>いて全員<sup>ぜんいん</sup>から回答<sup>かいとう</sup>を得<sup>え</sup>ました。

- M：1. 山田<sup>やまだ</sup>さん、回答<sup>かいとう</sup>早い<sup>はや</sup>な。  
 2. 山田<sup>やまだ</sup>さん、答<sup>こた</sup>えてないの？  
 3. 山田<sup>やまだ</sup>さんが全員<sup>ぜんいん</sup>分集<sup>ぶんあつ</sup>めたんだね。

4 番

F：佐藤<sup>さとう</sup>さん、日曜<sup>にちよう</sup>のバイト、私<sup>わたし</sup>と時間<sup>じかん</sup>代わ<sup>か</sup>ってもら<sup>ら</sup>うわけにいかない？

- M：1. 別<sup>べつ</sup>に、かまいませんけど。  
 2. え、代わ<sup>か</sup>ってませんけど。  
 3. 僕<sup>ぼく</sup>、お願<sup>ねが</sup>いしてませんけど。

5 番

M：昨日<sup>きのう</sup>初<sup>はじ</sup>めて劇<sup>げき</sup>場<sup>じやう</sup>で芝居<sup>しばい</sup>見<sup>み</sup>たんだけど、また行<sup>い</sup>きたくてたまらないんだ。

- F：1. 何<sup>なに</sup>がたま<sup>た</sup>まってないの？  
 2. また行<sup>い</sup>っちゃったの？  
 3. そんなに感<sup>かん</sup>動<sup>どう</sup>したの？

6 番

M：課長<sup>かちやう</sup>、プリンター、修<sup>しゅう</sup>理<sup>り</sup>に出<sup>だ</sup>したんですが、もう買<sup>か</sup>い替<sup>か</sup>えるしか<sup>い</sup>ないって言<sup>い</sup>われました。

- F：1. じゃ、新<sup>あた</sup>しいの買<sup>か</sup>わなきゃね。  
 2. 買<sup>か</sup>い替<sup>か</sup>える必要<sup>ひつよう</sup>ないってこと？  
 3. それなら、修<sup>しゅう</sup>理<sup>り</sup>してもらおう。

7 番

M：キムさん、レポート、チェックしたよ。ここの数字さえ直せば、問題ないよ。

- F：1. 数字のほかはどこですか。  
2. すぐに、訂正します。  
3. 何も問題がなくて安心しました。

8 番

F：この会議室、壁の色変えたせいか、広く見えるんじゃない？

- M：1. 分かりました。そうしてみます。  
2. ほんと、変えて、正解ですね。  
3. 色のせいで広く見えないんですか。

9 番

F：このアパート、この間取りと設備でこの家賃。言うことなしだね。

- M：1. ほんと、家賃がちょっとね。  
2. こんないい条件ほかにないよね。  
3. それじゃ、諦めようか。

10 番

M：今週は仕事のスケジュールがぎっしりで、嫌になっちゃうよ。

- F：1. 忙しそうだけど、無理しないようにね。  
2. まだスケジュールが決まらないの？  
3. 今週は仕事が少ないんだね。

11 番

M：僕スキーするの、今日5年ぶりですよ。できるかな。

- F：1. 5年なら体が覚えてますよ。  
2. 今日から5年もできないんですか。  
3. 5年間も続けてるなんてすごいですね。

12 番

F：所長、事務所の防災グッズ確認したら、足りないものだらけです。

M：1. ああ、足りないものはなかったんだね。

2. あ、一つだけ足りなかったの？

3. え、足りないもの、そんなにあった？

問題 5

1 番

大学で男の学生と職員が話しています。

M：すみません、アルバイトを紹介してもらいたいんですが。お客さんと接する仕事がいいんですが、どんなのがあるか教えていただけませんか。時給はできたら900円以上で、週三日までで探してるんですけど。

F：ええと、条件に近いものが四つありますよ。まず、これですね。大学正門前のコンビニです。時給850円で、週三日。早朝と深夜は時給が100円高くなるそうです。それから、大学の前の大通り沿いのガソリンスタンドですね。時給1,200円です。ただ、土日を含めて週四日以上勤務できる人が希望だそうです。

M：どちらもお客さん相手なのはいいですね。

F：あと、大学から駅に行く途中にあるレストランでも募集していますよ。時給1,100円。調理の補助をまれに頼まれることもあるそうですが、基本的には注文を取ったり、料理を出したりする仕事で、週二日来てほしいそうです。

M：キッチンの仕事もたまにならいいかな。

F：えー、それから、駅前のデパートでのアルバイト。売り場には出ないで商品を発送する仕事になりますが、勤務日数が自由に決められますし、時給1,300円と高いのが魅力だと思いますよ。

M：うーん、直接お客さんとやり取りできる仕事で、できるだけ時給が高いのがいいです。クラブ活動などもあって、勤務日は増やせないから、これにします。

男<sup>おとこ</sup>の学生<sup>がくせい</sup>はどのアルバイト<sup>えら</sup>を選びますか。

1. コンビニ
2. ガソリンスタンド
3. レストラン
4. デパート

## 2番

環境問題<sup>かんきょうもんだい</sup>を学ぶ<sup>まな</sup>学生<sup>がくせい</sup>3人<sup>にん</sup>が、授業<sup>じゆぎやう</sup>でのグループ発表<sup>はっぴやう</sup>について話<sup>はな</sup>しています。

F 1: 今度<sup>こんど</sup>の「サクラガエルを守る地域<sup>まも</sup>の活動<sup>ちいき</sup>」についてのグループ発表<sup>はっぴやう</sup>だけど、昨日<sup>きのう</sup>の練習<sup>れんしゆ</sup>だと、10分以内<sup>じふいふん</sup>に収まり<sup>おさ</sup>そうになかったよね。どうしょっか。

M: 前半<sup>ぜんはん</sup>で「カエルが減<sup>へ</sup>っている現状<sup>げんじやう</sup>」について説明<sup>せつめい</sup>しておいて、後半<sup>こうはん</sup>で写真<sup>しやしん</sup>を見せながら「カエルを守る活動<sup>まも</sup>の重要性<sup>かつどう</sup>」について話<sup>はな</sup>す構成<sup>こうせい</sup>なのに、後半<sup>こうはん</sup>、時間<sup>じかん</sup>が足り<sup>た</sup>なくなっちゃったよね。後半<sup>こうはん</sup>で見せる写真<sup>しやしん</sup>を少し減<sup>すこ</sup>らそうか。

F 2: そうしたら、活動<sup>かつどう</sup>の様子<sup>ようす</sup>が伝わり<sup>つた</sup>にくいことはない？

M: そっか。

F 2: 前半<sup>ぜんはん</sup>の「減<sup>へ</sup>っている現状<sup>げんじやう</sup>」については、少し省<sup>すこ</sup>けるところがあると思<sup>おも</sup>ったけど。

F 1: 例<sup>たと</sup>えば？

F 2: 説明<sup>せつめい</sup>で似たような内容<sup>ないよう</sup>を繰<sup>く</sup>り返<sup>かえ</sup>しているから、そこをカット<sup>か</sup>するとか。

F 1: なるほどね。ほかにはないかな。

F 2: そうだな。前半<sup>ぜんはん</sup>の発表<sup>はっぴやう</sup>は私<sup>わたし</sup>の担当<sup>たんとう</sup>だけど、昨日<sup>きのう</sup>は少しゆっくりしやべりすぎ<sup>すこ</sup>たかな。少し速<sup>はや</sup>めに話<sup>はな</sup>そうか。

F 1: 話<sup>はな</sup>し方で調整<sup>ちやうせい</sup>か。

M: それか「活動<sup>かつどう</sup>の重要性<sup>じゆうせい</sup>」について話<sup>はな</sup>す前<sup>まえ</sup>に「地域<sup>ちいき</sup>の学校<sup>がっこう</sup>でどんな活動<sup>かつどう</sup>が行<sup>おこな</sup>われてるでしょう」ってクイズ<sup>い</sup>を入れてるよね。あれをなくせば、後半<sup>こうはん</sup>の時間<sup>じかん</sup>が確保<sup>かくほ</sup>できるんじゃない？

F 1: いや、聞<sup>き</sup>いている人に興味<sup>きやうみ</sup>を持ってもらうために、あれはいい工夫<sup>くふう</sup>だと思<sup>おも</sup>うよ。

F 2: うん、私<sup>わたし</sup>もそう思<sup>おも</sup>う。

F 1: じゃ、話<sup>はな</sup>すスピードは、今<sup>いま</sup>より速<sup>はや</sup>くすると聞き<sup>き</sup>にくくなっちゃうと思<sup>おも</sup>うから、やっぱり現<sup>げん</sup>状<sup>じやう</sup>のところを整理<sup>せいり</sup>しよう。

発表の時間を短くするためにどう変更することにしましたか。

1. 前半の説明を短くする
2. 前半を速めに話す
3. クイズをやめる
4. 後半の写真を減らす

### 3番

町の市民講座で、交通安全についての説明を聞いて、夫婦が話しています。

M1: 今日は、街の交通安全について考えたいと思います。グループに分かれて問題になっている地域の現状を見に行き、そのあと、対策を話し合いますので、一つ選んでください。まず、北中通りです。駅前のお大通りで、歩道に自転車が多く止められていて、歩みにくいと苦情が寄せられています。次は、運動公園沿いの大川通りです。週末、公園の利用者の車が駐車場に入りきらず、通りに駐車するため問題になっています。次の上田通りは、近くに小学校があり、児童が通学で利用しています。しかし、歩道が狭く、安全を心配する声があがっています。最後の山下通りは商店街です。自転車の通行量が多く、歩行者が安心して買い物できる対策が求められています。

M2: どこにする? この前、公園の近くを歩いてたら、確かに道路に駐車している車が多かったな。

F: うん。でも、親としては、子供が毎日登校や下校に使う道路の安全のほうがか心配じゃない?

M2: そうだね。僕もそっこのほうが心配だな。

F: じゃ、決まり。一緒に行こう。

M2: あ、でも僕、自転車の問題も気になってるんだ。通勤で急いでいるとき、迷惑なんだよ。

F: あ、商店街でしょ。私も自転車とぶつかりそうになったことあるよ。

M2: 僕が言ってるのはそこじゃないよ。朝とか人通りが多いときに、歩道に置いてあると邪魔なんだよね。僕は、そっちを見に行くよ。

F: 分かった。じゃ、別々に見に行こう。

質問1. 女の人は、どこを見に行きますか。

質問2. 男の人は、どこを見に行きますか。